

体育祭・文化祭の取組を通して

今年は、10月に入っても夏日が続き、中旬を過ぎたあたりから朝晩に肌寒さを感じる気温となり、ようやく秋の訪れを感じられるようになりました。校内の金木犀が満開となり、校舎内に吹き込む風にのって甘い香りがします。

さて、10月17日には、「体育祭」が実施されました。今年は、インフルエンザの流行により当初予定されていた11日の開催が延期となり、6日間遅れての実施となりました。



生徒は、9日間の取組の後、さらに延期による4日間の取組を、気持ちを切らせることなく、各色ともに御神楽や大縄跳びと、1年生、2年生、3年生がリーダーを中心に気持ちをひとつにし、協力して取り組みました。上級生は下級生に対して御神楽の演技指導をするだけでなく、思いやりや、励ましの声をかけると、下級生も一生懸命に大きな声を出し、身体を動かして上級生の気持ちにこたえようとします。このような場面が、この13日間の取組中には、各色でたくさん見られました。ときには、思うように踊れなかったり、うまく跳べなかったり、悩んだり、もめたりすることもありましたが、そういったことも含めて、みんなで一緒に乗り越えてきたからこそ、みんなで気持ちを共有することができたのだと思います。



そして、当日は素晴らしい秋晴れのもと、各色一丸となって取り組んだ「御神楽」「大縄跳び」で気迫のこもった熱い演技、息の合ったジャンプで、精一杯頑張る姿を見せてくれました。決して最後まで諦めない気持ちや、互いに認め合い、励まし合うこと、縦割りの集団での取組を通して多くのことを学ぶことができた素晴らしい体育祭となりました。

11月1日、2日は文化祭です。1年生は「合唱」、2年生、3年生は「演劇」に、各学級、各学年、みんなで協力して取り組んでいます。文化祭では学級のまとまり、学年という横のつながりを重視しての取組となります。

1年生の合唱は、各学級のパートリーダーを中心にパート練習に取り組み、何度も音取りを繰り返しながら、曲の抑揚やテンポのとれたハーモニーを創り上げてきました。

2、3年生の演劇は、劇団「衛星」のみなさんの指導も受けながら、学級でキャストや音響、照明、背景、道具・衣装と役割を分担し、台本を何度も読み返したり、みんなで力を合わせ、一つのストーリーを創り上げてきました。

学級や学年のみんなで一つの合唱や演劇を創り上げる協働作業を通して、仲間と協調しながら、さらに学級や学年の団結力を高め、文化的な創造性を身に付けてくれることを期待しています。

保護者の皆様には、生徒たちの一生懸命な歌声、心に残る感動のステージ発表をご覧いただけるものと確信しております。ステージに立つ生徒、また裏方として演劇の成功に向けて一生懸命に取り組んだすべての生徒に、あたたかい拍手をよろしくお願いたします。なお、コロナ・インフルエンザ感染防止対策のため、発表の間に換気時間を設けております。また、発表時刻が多少前後することがあるかもしれませんが、何卒ご理解とご協力をお願いいたします。

校長 岡本 英明
学校だより（11月号）より